

JEITA

ソリューションサービス事業委員会
活動報告

2003年10月9日

社団法人 電子情報技術産業協会

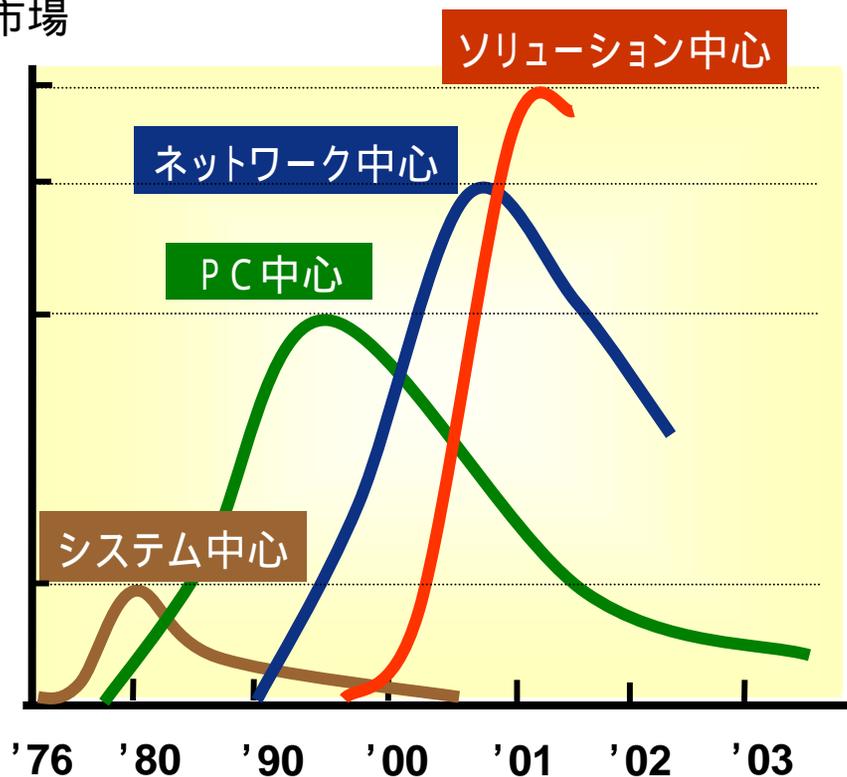
ソリューションサービス事業委員会

委員長 伊藤 大挙

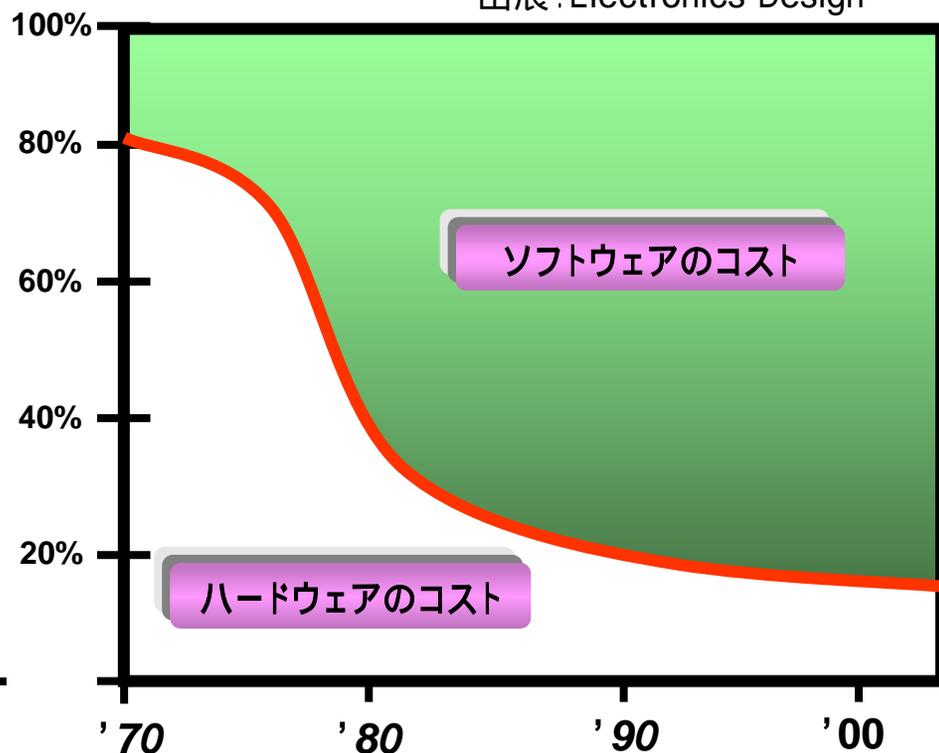
ソリューションサービス技術の重要性

コンピュータのハードの低価格化と高性能化の技術革新が進行する中で、顧客に対してより高い付加価値の提供、
即ちソリューションビジネスの重要性が一段と増してきている。

市場



出展: Electronics Design



ソリューションビジネス委員会の設置

委員会設置の目的

しかし、我が国にとって、このビジネス分野は歴史が浅いため、このソリューションビジネスに関して、将来のマーケットと普及のための施策等を調査検討をする委員会として、1999年12月に社団法人 日本電子工業振興協会内に設立した。

委員会の主要活動

同委員会の活動としては、ソリューションビジネスの定義、市場の動向、ビジネス体系、ソリューションを顧客に提案する方法論、ビジネスモデルについて、調査検討を行う。

委員会参加企業

沖電気工業(株)

TDK(株)

(株)東芝

日本アイ・ビー・エム(株)

日本電気(株)

日本ユニシス(株)

(株)日立製作所

富士通(株)

富士電機(株)

松下電器産業(株)

三菱電機(株)

横河電機(株)

(株)リコー

年度別各専門委員会

2000年度

■ アーキテクチャ
専門委員会

■ インターネット
ビジネス専門委員会

■ ソリューション
ビジネス環境整備
専門委員会

■ 環境情報化
専門委員会

■ 高齢化対応
専門委員会

2001年度

■ アーキテクチャ
専門委員会

■ インターネット
ビジネス専門委員会

■ 環境整備
専門委員会

2002年度

■ コンサルティング
ソリューション
専門委員会

■ ビジネスモデル
専門委員会

■ Webニュービジネス
専門委員会

■ ビジネス環境
専門委員会

ソリューションビジネス委員会の構成 (2000年度)

以下の5つの専門委員会を設置

アーキテクチャ専門委員会

ソリューションの定義、体系化、推進技法などの研究 等

インターネットビジネス専門委員会

業務標準(XML) / モバイルインターネットプロトコル検討、共通基盤整備 等

ソリューションビジネス環境整備専門委員

ソリューションビジネスマーケット調査、普及の為の施策検討 等

環境情報化専門委員会

グリーン調達、LCA(ライフサイクルアセスメント)、情報整理 等

高齢化対応専門委員会

シルバー人材センタ、障害者インタフェース、遠隔介護システム 等

ソリューションサービス事業委員会 (2001年度)

以下の3つの専門委員会を設置

アーキテクチャ専門委員会

- ・ソリューションビジネス基盤をアーキテクチャと捉え、ソリューションビジネスに重要な企画段階のコンサルテーションビジネス分野の調査を実施

調

インターネットビジネス専門委員会

- ・中小企業におけるインターネットビジネスの普及・促進策、及びP2Pについての研究活動
- ・「XMLフォーマットのイエローページ」の充実と活動継続

環境整備専門委員会

- ・ソリューションビジネス普及のための環境整備として、SLA(Service Level Agreement)を中心とした研究活動

ソリューションサービス事業委員会 (2002年度)

以下の4つの専門委員会を設置

コンサルティングソリューション専門委員会

コンサルティングソリューションの調査

- ・品質管理のあり方、定量的評価の可能性等の調査

ビジネスモデル専門委員会

ソリューションサービス/ビジネスの普及・展開としての施策の構築と提言

- ・ビジネスモデルの体系化

Webニュービジネス専門委員会

ソリューションビジネス普及促進の方法論の構築

- ・ブロードバンド、Webサービスの技術論、e-ビジネス領域の市場規模、P2Pを中心とした新規ビジネスの将来性についての調査

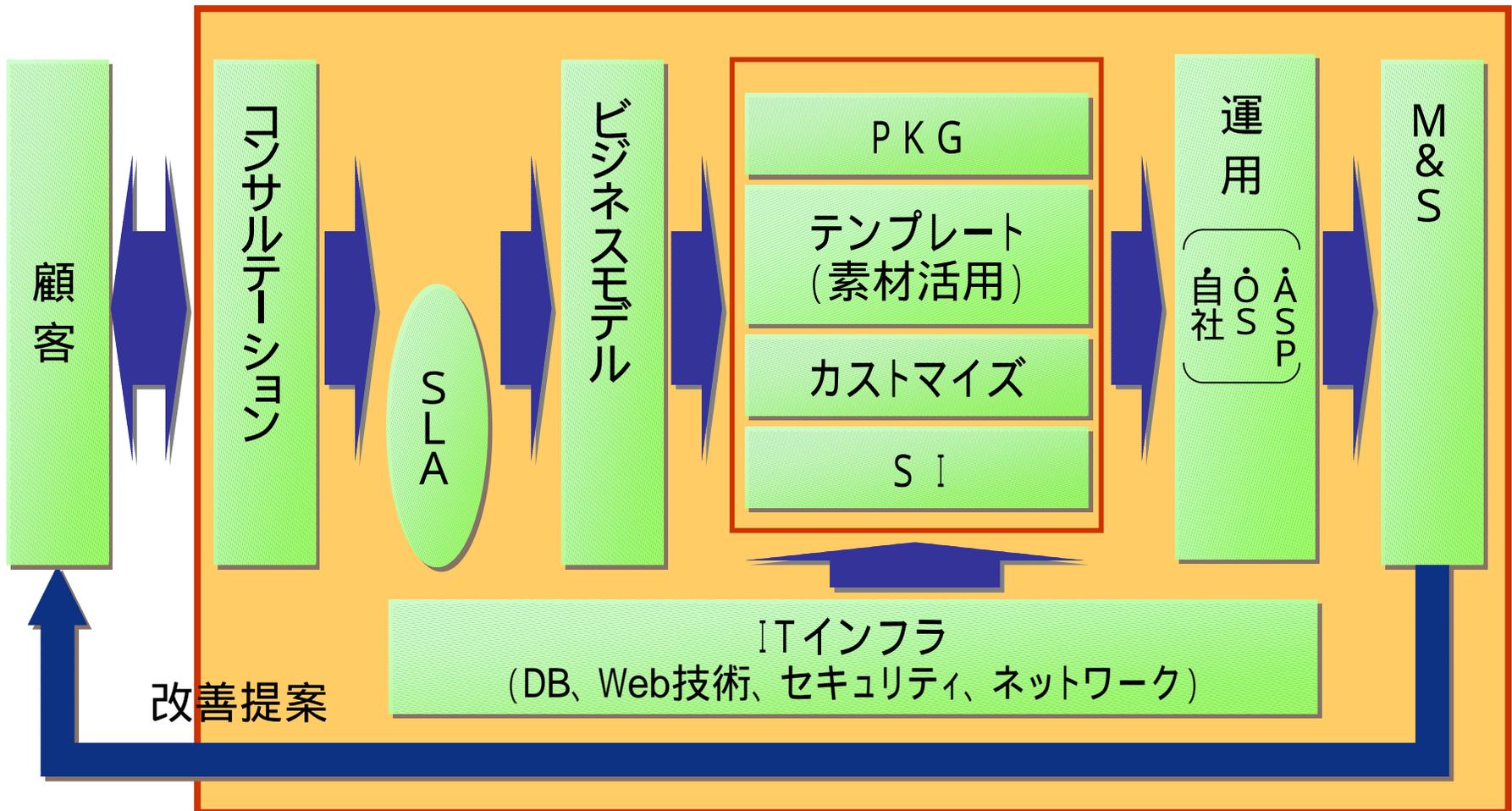
ビジネス環境専門委員会

ソリューションビジネスの拡大

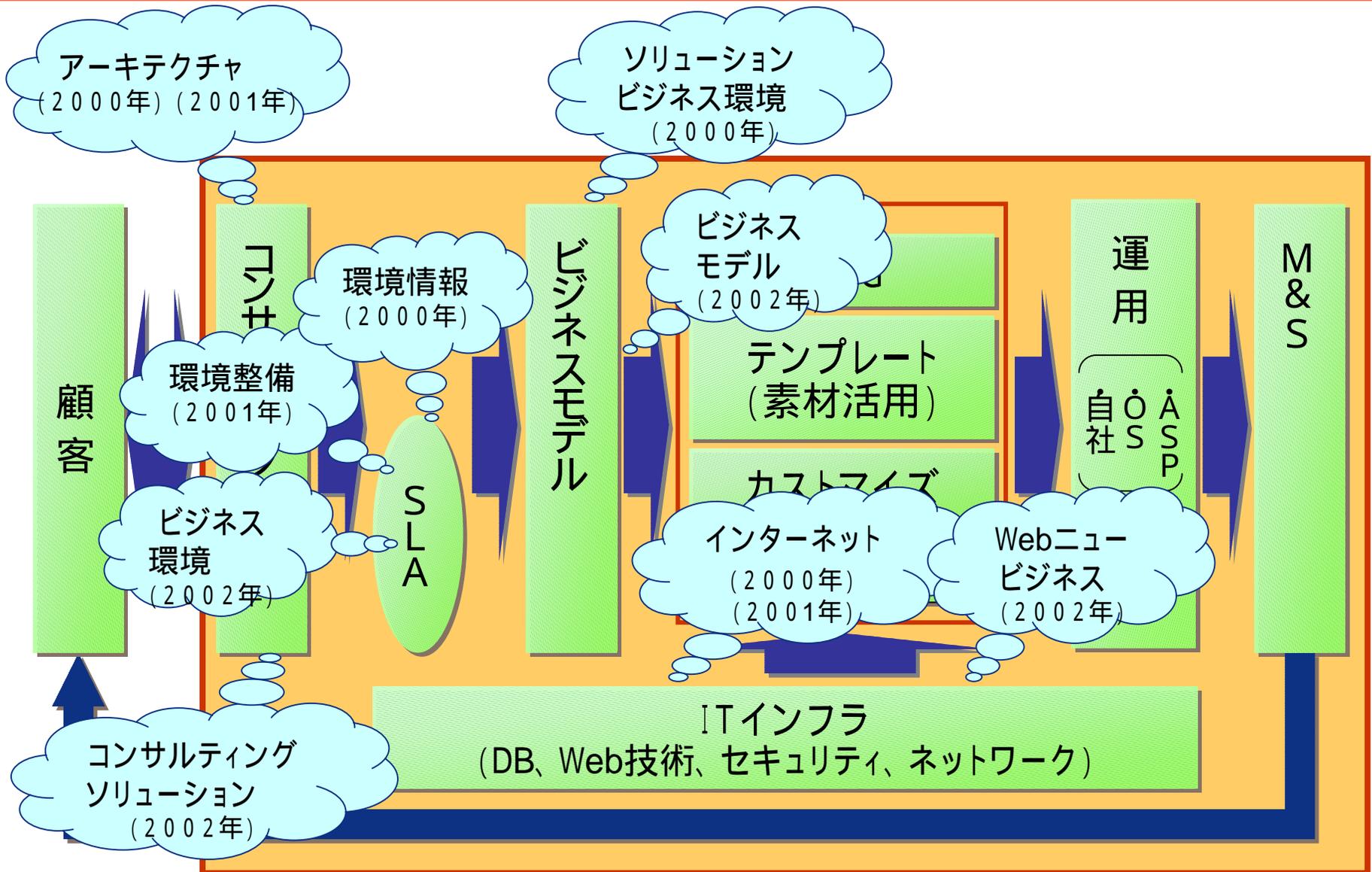
- ・サービスレベルの内容、管理ツールの具体化について関連団体との連携による検討

各専門委員会活動の位置づけ

(参考) ソリューションサービスビジネスモデル

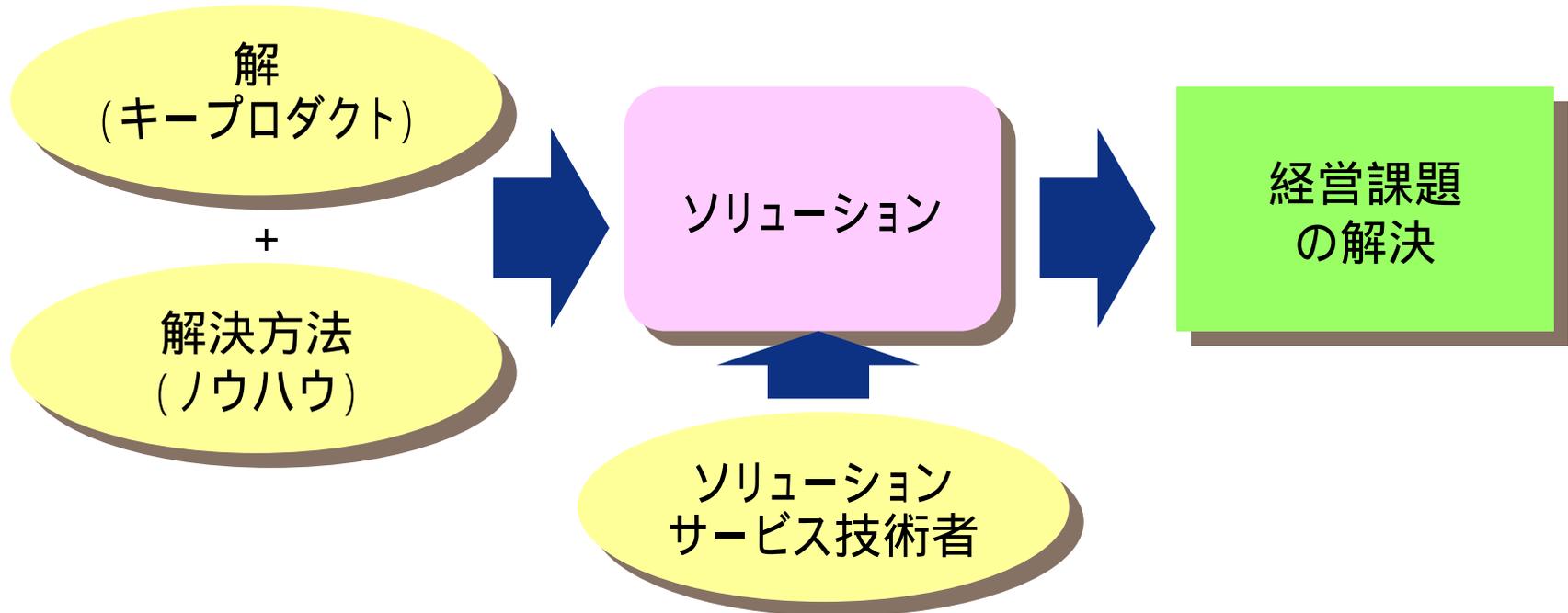


各専門委員会活動の位置づけ



(参考) ソリューションの定義

顧客の経営課題をITと付加サービスを通して
解決するビジネス技法



顧客にソリューションを提供する側に「解決手段」のノウハウがあり、
経営課題に対する解決への提案と解決策を実現する技法、及び商品群がある。

(参考) ソリューションビジネス技法

1. コンサルテーション

- (1) 顧客の経営課題とニーズの把握
- (2) 業界動向分析
- (3) 問題点分析 / ニーズ分析
- (4) 投資効果分析

2. 情報システム化構想立案

3. ソリューションフレームワーク、ソリューション商品マップからソリューションメニューを選択

4. ソリューションフレームワークから、サービス、ミドルウェア、ネットワーク、プラットフォームを選択

- ex. サービス
- (1) パッケージ型
 - (2) システムインテグレーション型
 - (3) アウトソーシング型
 - (4) ASP型

5. ソリューションの構築と評価

最後に

今後の重要と思われる研究テーマ

情報サービス管理とSLAの適用

平成15年度 ビジネス環境専門委員会で継続調査・研究

競争力あるビジネスモデルの創出

平成15年度 先進的ソリューションモデルビジネス専門環境委員会で調査・研究

コンサル評価技術の標準化

平成15年度 ソリューションサービス標準化専門委員会で調査・研究

ソリューション技術者の育成

EA (Enterprise Architecture) の普及